学校番号	3009

令和８年度　工業科（建築系）

教科	工業科（建築系）	科目	(学)建築応用実習	単位数	２単位	年次	３年次（深化）
使用教科書	『建築構造』・『建築構造設計』・『建築計画』・『建築設計製図』（実教出版）						
副教材等	プリント（学校作成）						

1　担当者からのメッセージ（学習方法等）

各種建築材料の使用方法、各種建築機器の取扱いについて、正しい知識と技術を習得し、建築構造、建築構造設計、建築計画に必要な知識を実践的に理解しましょう。

2　学習の到達目標

建築物の構造と設備、建築物に影響をあたえる周囲の環境を理解し、実際の作業を通して総合的に習得し、技術革新にも主体的に対応し、応用できる能力と態度を育てる。

3　評価の観点及びその趣旨

観点	a:知識・技術	b:思考・判断・表現	c:主体的に学習に取り組む態度
観点の趣旨	建築構造･建築構造設計･環境工学・建築設備に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。	建築構造・建築構造設計・環境工学・建築設備の基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。	建築構造・建築構造設計・環境工学・建築設備に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。
上に示す観点に基づいて、学習のまとまりごとに評価し、学年末に５段階の評定にまとめます。学習内容に応じて、それぞれの観点を適切に配分し、評価します。			

4　学習の活動

学期	単元名	学習内容	単元(題材)の評価規準	評価方法		
				知(a)	思(b)	主(c)
年間（前期・後期）	建築構造	建築構造についての実践的･体験的な学習を行い、各種建築材料の特性を理解させて、根拠に基づき対応できる応用力を養う。	a：建築構造に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。 b：建築構造の基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。 c：建築構造に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出プリント
	建築構造設計	荷重に対する安全性を実践的に理解させ、耐震設計の概要、断面の算定による根拠に基づき対応できる応用力を養う。	a：建築構造設計に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。 b：建築構造設計の基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。 c：建築構造設計に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	確認テスト	確認テスト	授業観察 提出プリント

	環境	建築物に影響を及ぼす、熱・通風と換気・光・音といった環境を測定し、自然条件が建築物に与える影響を実践的に理解させ、根拠に基づき対応できる応用力を養う。	a: 環境工学に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。 b: 環境工学の基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。 c: 環境工学に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	学習状況観察 ワークシート 提出状況	学習状況観察 課題提出内容	授業参加状況 ワークシート 提出状況
	設備	建築設備についての実践的・体験的な学習を行い、給排水設備、空調設備、電気設備の特性を理解させて、根拠に基づき対応できる応用力を養う。	a: 電灯コンセント図及び給排水設備図に関する基礎的・基本的な知識と技術を身に付け、その知識と技術を合理的で適切に活用する能力を身に付けている。 b: 電灯コンセント図及び給排水設備図の基礎的・基本的な知識と技術を基に、設計者や施工管理者といった建築技術者として、適切に判断し表現する能力を身に付けている。 c: 電灯コンセント図及び給排水設備図に関する課題について関心をもち、その改善・向上をめざして主体的に取組み、実践的な態度を身に付けている。	学習状況観察 ワークシート 提出状況	学習状況観察 課題提出内容	授業参加状況 ワークシート 提出状況

※　表中の観点について　a:知識・技術　b:思考・判断・表現　c:主体的に学習に取り組む態度